開　邦　雄　飛

開邦高等学校

本校は、沖縄県で初めて理数科・英語科・芸術科（音楽コース・美術コース）を置く特色ある進学校として昭和61年４月に開校しました。「邦を開き世界に羽ばたく人材の育成」を目標に、生徒の個性の伸張を図り、専門的な知識・技能を高め、県内外の国公立大学や難関私立大学等へ進学できることを目指しております。本県教育の進展に本校の果たした役割は、県内外の教育関係者等から高い評価を受けており、創立以来、職員の惜しみない手厚い指導のもと、目標に向かって黙々と日々努力する生徒達を支援しています。本校に勤務する職員は、「生徒・保護者及び地域社会の期待や要望に応えられる教育実践をすることが、教育者としての使命である。」と考えております。我々職員は、沖縄県における屈指の進学校としての使命を自覚し、確かな学力と豊かな心を身につけ、国際社会で活躍しうる人材の育成を目指し、生徒職員一丸となって、頑張っております。

本校の体育系部活動は22あり、活動時間は、夏時間が１時間45分、冬時間が1時間15分となっており、文武両道を目指し、メリハリのある活動を行っています。平成16年度から25年度までの活動を紹介いたします。

平成19年度県高等学校総合体育大会水泳競技女子、100mバタフライ2位、200mバタフライ3位、400mR3位、200m個人メドレー 4位。平成19年度県高校新人体育大会水泳競技女子、100mバタフライ3位、50m背泳3位。

平成20年度県高等学校総合体育大会水泳競技女子、100mバタフライ2位。

平成21年度県高等学校総合体育大会水泳競技男子、50m自由形1位、100m自由形1位、200mバタフライ1位・2位、100mバタフライ2位。同陸上競技男子、三段跳び3位。同ゴルフ競技男子個人の部4位。平成21年度県高校新人体育大会水泳競技男子、50m自由形1位、100m自由形1位、100mバタフライ2位、200mバタフライ1位・3位、200mフリー R3位。同女子、50m背泳3位、200mフリー R2位。同フェンシング・サーブル女子に2位。同ゴルフ競技男子個人の部２位。

平成22年度県高等学校総合体育大会水泳競技男子、50m自由形1位(県新記録)、100m自由形１位(県新記録)、200mバタフライ１位・４位、100mバタフライ２位・６位、1500m自由形１位、400m自由形４位、800mR １位、水泳男子総合２位。同陸上競技男子、三段跳び１位。平成22年度県高校新人体育大会水泳競技男子、50m自由形１位（大会新）、100m自由形１位（大会新）、200m自由形２位、400m自由形２位、50mバタフライ４位、100mバタフライ２位・３位、200mバタフライ１位、200mメドレー R １位、200mR １位（大会新）、男子総合２位。第72回全九州高等学校選手権新人水泳競技大会男子、50m自由形３位、100m自由形５位)、100mバタフライ７位、200mバタフライ６位、末弘杯対県リレー２位。

平成23年度県高等学校総合体育大会水泳競技男子、50m自由形１位(県新記録)、100m自由形１位(県新記録)、200m自由形３位、100mバタフライ２位、200mバタフライ２位、400mR ２位。同フェンシング・サーブル女子３位。

平成24年度県高等学校総合体育大会陸上競技男子、走り高跳び３位、女子、100mH ３位。同水泳競技女子において、400m自由形３位、800m自由形１位。第27回沖縄県高等学校対校秋季陸上競技大会男子において、走り高跳び２位、女子において100mH １位。平成24年度県高校新人体育大会陸上競技男子、走り高跳び１位、女子、100mH ２位。同水泳競技女子、200m自由形３位、400m自由形１位。

平成25年度県高等学校総合体育大会陸上競技男子、走り高跳び３位、女子、100mH １位、4×100mR ５位。同水泳競技女子、400m自由形１位、800m自由形１位。

学校教育の主人公は生徒です。新しい次代を担う生徒に、確かな学力や心の教育を保障し、個性を伸ばし心豊かにたくましく成長する教育を保障することは、全ての県民の切なる願いです。

本校は、これからも、運動部活動は、学校教育の一環として行われるべきものであることに留意していきます。心身の成長の過程にある生徒にとって、運動部活動は、体力を向上させるとともに、他者を尊重し他者と共働する精神、公正さと規律を学ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育むものでなければなりません。また、運動部活動は、生徒達の心身の成長の一助となると同時に、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるべきものです。本校では、全職員のしっかりとした共通理解の下、一人一人の生徒に「生きる力」を育み、生徒の自主的、自発的な活動の場の充実に向けて取り組んでいきます。

本校の体育系部活動の足跡

嘉手納高等学校

本校は、緑豊かな屋良城趾公園に隣接し、比謝川のせせらぎが聞こえる心休まる環境のなか、今年で創立30周年の節目を迎えました。校訓として、「誠実」「自主」「創造」を掲げ、豊かな心・逞しい体・高い知性を持ち個性豊かで創造性、国際性に富む人間の育成を目指して邁進し、その成果をあげてきました。この10年間において体育系部活動は、ソフトボール、空手道、陸上、野球が輝かしい実績を残しました。その他、バレーボール、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン、テニス、ラグビー等が着実に実績を積んでいます。

本校の体育系部活動の10年の足跡を紹介します。

＜平成16年＞
5月　県高校総体　空手道男子団体組手優勝
10月　全九州高校新人陸上競技大会鹿児島大会
　男子走高跳優勝　知念正人

＜平成17年＞
5月　県高校総体　陸上競技男子走高跳２位
　男子個人組手優勝　国吉航
　テニス男子団体・個人ダブルス３位
10月　県高校空手道新人大会
　男子個人組手優勝　崎濱大河

＜平成18年＞
2月　県高校空手道春季大会男団体組手優勝
5月　県高校総体　男子個人組手準優勝
　男子団体組手３位　テニス男団体３位
10月　県高校空手道新人大会　男子個人組手
　優勝　神谷嘉亨　団体組手準優勝

＜平成19年＞
2月　県高校空手道春季大会
　男子団体組手準優勝
5月　県高校総体　空手道男子団体準優勝
　個人組手優勝　テニス男子団体３位
　ソフトボール女子３位
10月　県高校空手道新人大会男子団体組手優勝

＜平成20年＞
2月　県高校空手道春季大会
　男子団体組手準優勝
4月　県高校ソフトボール春季大会
　男女ベスト4

＜平成21年＞
10月　第125回九州地区高校野球大会優勝
12月　ソフトボール秋季大会　女子準優勝

＜平成22年＞
3月　第82回選抜高校野球大会甲子園出場
5月　県高校総体　男子ソフトボール優勝
　陸上競技女子砲丸３位　中村枝里子
8月　全国高校総体美ら島大会
　男子ソフトボール　ベスト16
10月　県高校新人体育大会
　男子ソフトボール準優勝九州大会派遣
12月　県高校ソフトボール秋季大会
　男子ソフトボール大会初優勝

＜平成23年＞
4月　第58回県高校野球春季大会　準優勝
5月　県高校総体　男子ソフトボール優勝
　女子ソフトボール　ベスト４
　陸上競技女子円盤投２位　中村枝理子
　陸上競技女子砲丸投３位　中村枝理子
8月　全国総合体育大会男ソフトボール出場
　陸上競技女子円盤投６位　中村枝理子
9月　県高校新人陸上競技大会
　陸上競技女子砲丸投１位　中村枝理子
10月　第61回県高校野球秋季大会準決勝進出
10月　全九州高校陸上競技新人大会
　陸上競技女子円盤投１位　中村枝理子
　陸上競技女子砲丸投３位　中村枝理子
10月　日本ジュニアユース選手権大会
　陸上競技女子円盤投２位　中村枝理子
10月　県高校新人体育大会
　男子ソフトボール優勝　九州大会派遣
12月　県高校ソフトボール秋季大会男子優勝

＜平成24年＞
5月　全九州高校ソフトボール春季大会
　男子ソフトボール　ベスト4
6月　全九州高校体育大会南九州大会
　陸上競技女子円盤投1位　中村枝理子
7月　九州高校ソフトボール大会男子準優勝
7月　全国総合体育大会
　陸上競技女子円盤投優勝　中村枝理子
8月　全国総合体育大会男ソフトボール出場

＜平成25年＞
5月　県高校総体　男子ソフトボール準優勝
　柔道73キロ級３位　古謝正
　レスリンググレコローマンスタイル
　74キロ級２位　大城有貴彌
7月　九州高校総体男子ソフトボール第３位

和仁屋間（わなま）　潮路（しおじ）に夢を育てる

北中城高等学校

潮はめぐり　波はかがやく　東の岸に
国建ての　若い神々　雲の峰　友よ
ふるさとの大地だ　ここは……

と、作家、大城立裕氏が本校校歌に詠い上げたエネルギーの源泉＝太陽（ていーだ）が昇る東の方、護佐丸と阿麻和利が覇を競った強者どもの時代にその名をとどめる“和仁屋間”の地に、現代の若者宿、夢を育み次代を担う若者の学舎として、昭和58年４月に本校は開校しました。北東に勝連城、南西に中城城の城郭を望み、勝連半島と知念半島に抱かれた中城湾、その広大な干潟の向こうには津堅や久高の島々が防波堤となって太平洋の荒波を遮り、きらめくさざ波と潮の香、さとうぎびの葉擦れの音に包まれて本校は建っています。さらに、近隣には県立総合教育センターや県総合運動公園もあり、恵まれた教育環境にあります。

「剛健・誠実・進取」の校訓のもと、師弟同行で教育が行われてきた本校では、既に、7,500名余の卒業生を送り出しました。平成25年１月には創立30周年記念式典及び祝賀会も挙行されています。

学校は主に、北中城、中城、美東、沖縄東、安慶田中学校を通学区とする各学年７クラス規模の学校で、地域に信頼され、地域と連携した学校づくりを目指しています。また、本校の教育目標に掲げられた「主体的に生きる生徒」「謙虚に学ぶ生徒」そして、「問題解決能力」を持った、いわゆる「知識基盤社会」で逞しく生き抜き、社会に貢献できる人材の育成にも努めています。

教育課程では、大学進学を希望する生徒の進路実現を図るため、各学年１クラスを特進クラスとして設置し、早朝講座をはじめ、各種模擬試験を実施しています。また、普通クラスは多くの選択科目の中から自分の興味・関心や希望する進路に応じた科目を選んで学習することができます。

さらに、基礎学力向上を目指し、英語検定、漢字検定、数学検定をはじめ、ワープロ検定、秘書検定、歴史検定等の諸検定の他、漢字コンテスト、英語コンテスト、計算力コンテストも積極的に取り入れています。

日常的には、「時を守り　場を浄め　礼を正す」ことを学校スローガンとして、時間を守る、掃除・整理整頓、あいさつができるなど、基本的生活習慣の形成を目指すとともに、明るく楽しい学校づくりを推進しています。

本校は、創立当初より特色ある学校、地域に開かれた学校を目指すとともに、学業はもちろんのこと、部活動にも重点をおき文武両道に力を注いできました。体育系部活動においては、早朝からグラウンドや体育館で球音や喚声を轟かし、多くの生徒が練習に汗を流しています。

野球部、バスケット部など、県内において伝統を誇る本校の部活動の中でも、特に自転車競技部は、県高校総合体育大会において、団体の部11連覇という偉業を成し遂げているところです。隣接する県総合運動公園内自転車競技場での豊富な練習量を活かし、県内はもちろん、九州、全国に“キタナカグスク”の校名を知らしめることとなりました。このような記録に残る生徒の活躍は、本校が目指す「真の文武両道」の伝統校の礎を築いています。

自転車競技部（県高校総体団体の部11連覇）

男子バスケットボール部
（平成22年「美ら島沖縄総体出場」）

創立25周年を迎えて

球陽高等学校

球陽高校は、平成元年に「中部地区にも国公立大学、難関私立大学への進学を目指す高校を」という地域の要請と時代の変化への対応という目的で創立されました。急速に進展する科学技術及び国際化が叫ばれる中で、次代を担う人材育成のために理数科及び国際英語科が設置されました。全館冷房設備が整備された学習環境の中で、情熱あふれる教師陣と確固たる目標を持ち、意欲的に学習する生徒が目標達成のため邁進しています。また、今年は創立25周年を迎える年であり、名実ともに沖縄県を代表する進学校をめざして全生徒・全職員決意を新たにしています。

本校の教育目標は、実践を旨とし、それぞれの個性を開発し、一人一人を生かすとともに、勤労及び協調の精神を培い、社会に貢献し、さらに国際社会において活躍できる明るく豊かな心を持った、健康で逞しい人材を育成することです。

教育活動として、平日は早朝講座（７時30分開始）から７校時（16時40分終了）まで学習活動を行っており、さらに、放課後講座、土曜講座等の講座を実施し、国公立大学・難関私立大学の進学に対応すべく教育活動を展開しています。語学教育には特に力を入れ、外国人英語教師の常駐によるコミュニケーションを重視した授業に努め、国際語としての英語の学習を深め、英語を理解し、英語で表現する態度と能力を育成します。また、語学研修・異文化理解等を目的に海外交流プログラムを推進しております。また、今年度より文部科学大臣よりＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）として指定され、「創造性・国際性豊かな多面的な視点を持ち合わせた科学技術系人材の育成」を研究開発課題に掲げ、ＳＳＨ研究部を中心に全職員一致団結し、これからの５年間で全校生徒を対象として、実践研究、講演会等のさまざまな取り組みを行う予定です。

本校の部活動は平日２時間程度、第１、３土曜日は３時間程度の活動時間があります。普段の休日の練習は無く、大会１カ月前から特別練習許可を申請し練習を行っています。また、大会出場が5回までとなっており、生徒たちは限られた時間の中で創意工夫を発揮し集中せいて部活動に励んでいます。

主な実績として、平成17、18、19年に県高校総体新体操女子個人総合において前原千佳さんが３連覇を果たし、また平成22、23、24年にも同競技において松尾恵里さんが３連覇し、23年には美ら島沖縄高校総体に出場しました。また、平成21・22・23年度において有銘兼志くんが高校総体ヨット競技３連覇を成し遂げました。その他の実績は下記の通りです。

【平成16年度】

第27回全国選抜高校テニス九州地区大会出場

【平成17年度】

県新人大会バドミントン競技女子ダブルスベスト４

【平成18年度】

県新人大会	空手道女子団体組手		３位
	水泳女子	背泳50m	１位

【平成19年度】

県高校総体	空手道女子団体組手		３位
	柔道男子78kg級		３位

【平成22年度】

県高校秋季陸上大会

女子100m、200m	比嘉七々海	１位
女子100mハードル	島田裟彩	２位

【平成23年度】

県高校総体	サッカー	男子	３位
	テニス競技	男子団体	３位
	柔道	男子団体	３位
	陸上競技	女子100m	
ハードル	島田裟彩		１位
女子400mリレー			３位
県新人大会	女子100m2位、200m		
		兼本詩織	３位
	女子100mハードル		
		島田裟彩	１位

【平成24年度】

県高校総体

陸上競技	女子100mハードル	島田裟彩	１位
	女子100m	島田裟彩	３位
柔　　道	男子団体		３位
	男子73kg級	喜友名正弥	３位

【平成25年度】

県高校総体

新体操競技	女子個人総合	冨名腰真子	優勝
陸　上競技	男子400m	知花竜樹	３位

学　校　紹　介

宜野座高等学校

「学習は専心を尚ぶ」「運動は快心を尚ぶ」「交友は純心を尚ぶ」を校訓とし、平成27年度<H28/ 2>に創立70周年を迎える本校は昭和21年２月11日に惣慶・福山・古知屋・久志の各学校を統合し、元宜野座国民学校があった現在地に創立された。東に太平洋、西にはガラマン山系を望む宜野座村の高台で、地域に根ざした学府として１万１千余名の有為な人材を世に送り出している。また、在学中の生徒らは、緑豊かな環境の中で地域の温かい支援を受けながら、学習活動や部活動に励んでいる。また、部活動生は校内美化作業にも積極的に参加し、平成24年度全日本学校関係緑化コンクールでは本校が「特選（文部科学大臣賞）」に輝き、平成25年５月に開催された第64回全国植樹祭（鳥取県）で表彰された。

本校の運動系部活動は創立以来めざましい実績を残し、特にフェンシング・ラグビーフットボール・ボクシング・陸上・剣道・野球等は県内のみならず県外でも活躍し、高く評価されている。現在13の運動系部活動があり、それぞれが熱心な指導者のもとで目標に向かって邁進している。

中でも、平成16年創部のフェンシング部の活躍は抜きん出ており、女子団体が県高校総体で平成17年度より９連覇、県高校新人大会において平成16年度より９連覇を成し遂げ、九州大会・全国大会へ勝ち進んでいる。平成24年度全国高校選抜九州大会女子団体で３位となり、県勢18年ぶりの全国大会出場を成し遂げた。個人の部においても男女ともに優勝、準優勝など優秀な成績を残している。

球技の歴史も古く、ラグビーフットボール部は昭和51年の創立以来、各種大会において常に優秀な成績をおさめてきた。平成23年度県高校新人大会で優勝、平成23、24年度県高校新人大会10人制の部で連続優勝、九州大会でも連続で準優勝を成し遂げた。また、全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会や東西対抗戦の代表選手として優秀な選手を輩出している。同じく伝統を誇る陸上部も各種大会において成果を挙げている。平成22、23年度県高校総体で女子やり投げが、平成24年度県高校総体で女子やり投げと女子走幅跳が上位入賞し、南九州大会に出場した。

ボクシング部は平成15年に単独の練習施設が整備され、着実に実力をつけ、その後の活躍もめざましい。ライトフライ級において、平成22年度県高校新人大会で優勝、平成23年度県高校総体で準優勝、新人大会で準優勝・九州大会Ｂパートで優勝した。また、平成24年度県高校新人大会ではフライ級で準優勝、九州大会Ｂパートで準優勝するなど、優秀な成績を残している。また、日々厳しい鍛錬を積むことで定評のある剣道部は、北部支部大会において平成21年度に女子個人で優勝・準優勝、平成22年度に男女とも個人で優勝・準優勝と着実に力をつけ、平成23年度には県高校総体・新人大会で男子個人が上位入賞を果たし九州大会へ出場した。また、平成24年度県高校新人大会で男子団体が３位となり、九州大会に出場した。さらに同じ武道場で汗を流す柔道部も、平成20年度県高校新人大会で女子個人52kg級準優勝、平成20から22年度にかけて男子個人90kg級で３位の成績を収めている。

今後の活躍が期待される女子バレーボール部は、北部支部大会で上位の成績をおさめており、平成20年度県高校総体で団体３位の成績を残すソフトテニス部やバスケットボール部、サッカー部も各種大会で練習の成果を発揮し、県大会での上位入賞を目標に頑張っている。また平成22年創立と歴史の新しいゴルフ部は、平成24年度県高校新人大会で男子団体準優勝、男子個人の部で２位の成績をおさめた。さらに、女子個人では平成25年度の九州大会を勝ち抜き、全国高等学校ゴルフ選手権（第57回文部科学大臣杯争奪「緑の甲子園」）出場を果たした。

野球部は、平成13年、14年に全国大会出場を果たした。平成24年秋季大会で優勝し、九州大会に出場するなど地域からの期待も大きく、「がらまん旋風」再来が待ち望まれている。

地域社会と密に連携し、部活動を通して「心」を鍛え、自己の啓発・友情と連帯感を深め、学校教育の活性化に繋がるよう、日々、努力・研鑽に励んでいる。

本校体育系部活動の足跡

宜野湾高等学校

本校は、昭和55年11月に設置され、今年度で創立33年目を迎えます。沖縄コンベンションセンター、宜野湾市立体育館、野球場、海浜公園などの施設に隣接する恵まれた環境にあります。１学年６クラスの適正規模の学校で、生徒の進路や適性に合わせた「情報処理コース、文理特進コース、スポーツ・健康コース、総合教養コース」の４つのコースを設置しています。誠実・自主・創造を校訓として、職員の連携協力のもと、生徒の豊かな人間性の育成及び、希望進路の実現に向けた取り組みや学習意欲の向上等の「生きる力」の育成を目指した学校教育を推進しています。現在、全生徒の約半数が部活動に加入し、体育系は13の部が活発に活動しています。

さて、創立から今日に至るまでアーチェリー、空手道、ボクシング、ボウリング、サッカーなどの部活動においては、県大会で上位入賞を果たし、県代表として九州大会や全国大会に出場しています。

以下、平成16年度から平成25年度までの過去10年間の主な実績を紹介します。

【平成16年度】第12回全琉空手道選手権大会１位（６月）、第28回全日本高校選手権ボウリング大会２位（７月）、九州高等学校新人体育大会（ボクシング）ミドル級２位、第56回沖縄県民体育大会（アーチェリー）50m、30mラウンド１位（11月）

【平成17年度】県高校総体（アーチェリー）男女団体優勝、（レスリング）個人96KG級優勝（５月）、新人体育大会（ボクシング）バンタム級・ライト級・ミドル級１位（10月）、空手USオープン三冠（組手、形、棒）、九州新人大会（ボクシング）ミドル級２位（11月）、県高校選手権（ボクシング）フライ級・バンタム級・ミドル級１位（12月）

【平成18年度】県高校総体（アーチェリー）男女団体優勝、70m30mW男女優勝、（ボクシング）フライ級優勝、ミドル級優勝、（レスリング）フリースタイル50kg級優勝（５月）、県高校新人大会（アーチェリー）男女団体優勝、個人50m30m男子１位、個人30mW男女優勝（９月）（空手道）女子個人形優勝、（ボクシング）フェザー級優勝（10月）、高校新人体育大会（水泳）女子自由形50m優勝、南九州ブロック大会（空手道）女子個人形準優勝、九州高校新人大会（ボクシング）フェザー級優勝、ライト級優勝、ミドル級優勝（11月）、高校選手権大会（ボクシング）フェザー級優勝（12月）、県高校選手権大会（アーチェリー）優勝（１月）、県高校春季大会（ボクシング）フェザー級優勝（２月）

【平成19年度】県高校総体（空手道）女子個人形優勝、（ボクシング）フェザー級優勝、（アーチェリー）男女団体優勝、男子70ｍW優勝、男女30mW優勝（６月）、県高校新人大会（水泳）女子バタフライ50m1位、（アーチェリー）男女団体優勝、男女50m30mラウンド優勝、男女30mW １位（９月）、県高校選手権大会（ボクシング）ライト級優勝（12月）

【平成20年度】県高校総体（アーチェリー）男女団体優勝、男子30m １位、男女70m １位、（ボウリング）女子団体優勝、女子個人１位、（ヨット）女子シーホッパー SR級１位、（サッカー）準優勝、第36回全県高校選手権大会（ボウリング）女子団体優勝、女子個人優勝（４月）、第23回東海北信越高等学校選手権大会兼高体連加盟校全国選抜大会（ボウリング）男子個人優勝、新人大会（アーチェリー）男女団体優勝、男女30m50m １位（８月）、県高校新人大会（ボウリング）男女団体優勝、男女個人１位、（ラグビー 10人制）優勝（11月）

【平成21年度】U-16九州トレセンリーグ大会優勝（4月）、県高校総体（アーチェリー）男女団体優勝、男女30m １位、男女70m １位、（ボウリング）男女団体優勝、（ヨット）女子シーホッパー SR級１位（６月）、第37回全沖縄高校ボウリング選手権大会１位、全九州高校体育大会（アーチェリー）男子団体３位、（ボクシング）モスキート級１位、ライト級３位、フライ級３位（６月）、国民体育大会第29回九州ブロック大会サッカー少年男子準優勝（７月）、県高校新人大会（アーチェリー）男子団体優勝・女子準優勝、（ボウリング）女子団体優勝、（ヨット）女子シーホッパー SR級１位、（ボクシング）ライト級１位（10月）、（サッカー）準優勝（12月）

【平成22年度】県高校総体（アーチェリー）男子団体優勝、（ボウリング）男女団体優勝、（ボクシング）団体２位、（ヨット）女子シーホッパー SR級１位（６月）、県高校新人体育大会（ボウリング）男子団体２位、（アーチェリー）男子団体２位、女子団体優勝（10月）、第43回全九州高校新人大会（ボクシング）ピン級優勝（11月）

【平成23年度】県高校総体（ボクシング）ピン級優勝、（アーチェリー）男子団体優勝、（ボウリング）男子２位（５月）、沖電工杯第45回沖縄県サッカー祭優勝（８月）、波布リーグ2011（サッカー）前期優勝、後期準優勝、県高校新人大会（アーチェリー）男子団体優勝（９月）、県高校選手権大会（ボクシング）ライトフライ級優勝（12月）

【平成24年度】県高校総体（サッカー）優勝、（ボウリング）団体準優勝、男子個人優勝、（アーチェリー）女子30mW １位（６月）、県高校アーチェリー選手権大会男女個人1位（１月）

【平成25年度】県高校総体（アーチェリー）女団体優勝、男団体２位、女30m １位、男女70m １位（6月）

向　上　無　限

久米島高等学校

久米島は那覇市の西方約100㎞の東シナ海にあり、周囲約48㎞の離島である。平成14年に具志川・仲里両村合併により久米島町が誕生した。本校は、昭和21年４月に糸満高等学校の分校として設立認可されて以来67年の歴史を持ち、これまでに卒業生8906人を輩出してきた。過去には、農業クラブ全国大会で優秀賞、陸上競技男子円盤投げで全国１位などの実績を持つ伝統校である。当初は普通科のみであったが、昭和33年より農業科、家政科を設置。平成２年より普通科（１学年２クラス）、園芸科（１学年１クラス）に改編し、現在は213名の生徒が在籍している。平成12年度より泊高等学校通信課程の協力校、平成22年度から大平特別支援学校の分教室が設置され、４名の生徒が久米島高校の生徒と共に学んでいる。「向上無限」をモットーに誠実勤勉、自立協和、忍耐持久、剛健進取の４つの校訓を掲げ教育活動を行っている。高校近くには、久米島博物館、久米島ホタル館、上江洲家、ラムサール条約に登録された湿地帯など名所旧所が数多くあり、自然環境や教育環境に恵まれている。島内唯一の高校ということもあり、地域からの期待、協力をえて教育活動を行っている。明るく素直な生徒が多く、文武両立を目指した有意義な学校生活を送っている。部活動の加入率は63％で野球部、陸上部、男女バスケットボール部、女子バレーボール部、吹奏学部、ＣＧ部、ウエイトリフティング部、ボクシング部等の活動は活発である。

本校運動部過去10年間の主な各大会経歴

○平成16年

県新人大会モスキート級優勝国吉龍平

○平成18年

県高校総体モスキート級２位国吉龍平

○平成19年

県高校総体ミドル級２位山川智也、県新人大会ウエイトリフティング53kg級優勝古波蔵翼、56kg級３位宮里樹

○平成20年

県高校総体ウエイトリフティング53kg級２位古波蔵翼、56kg級３位宮里樹、77kg級優勝　平良響、県新人大会ウエイトリフティング56kg級３位宮里樹、69kg級２位平良響、第24回全国高等学校ウエイトリフティング競技大会69kg級３位平良響

○平成21年

県高校総体ウエイトリフティング69kg級優勝　平良響、62kg級３位宮里樹、ボクシング競技フェザー級３位田端竜也、九州大会ウエイトリフティング競技69kg級２位平良響、全国総体ウエイトリフティング競技69kg級３位平良響、県高校新人大会女子やり投げ３位大城七海、走り幅跳び３位新城百合、ウエイトリフティング77kg級２位譜久里宏樹、ボクシング競技ライトウェルター級２位玉城康輔、バンタム級３位田端竜也、ミドル級２位田端賢於、ライト級３位當銘義愛、全九州高等学校新人ボクシング競技ミドル級３位田端賢於、第46回高校ボクシング競技大会フェザー級２位當銘義愛、ライトウェルター級３位玉城康輔

○平成22年

高校総体女子やり投げ３位大城七海、三段跳び３位平良元樹、ボクシング競技ライトフライ級３位田場克希、ライト級３位當銘義愛、ミドル級２位田端賢於、第47回高校ボクシング選手権ライト級３位當銘義愛

○平成23年

県陸上選手権大会女子やり投げ優勝當間汐織、円盤投げ３位當間汐織、100メートル２位宇江城楓、200メートル３位宇江城楓、第29回全九州高校新人陸上女子やり投げ３位當間汐織

○平成24年

県総体女子やり投げ優勝當間汐織、南九州高校体育大会女子やり投げ優勝當間汐織、第94回全国高校野球選手権大会沖縄大会ベスト８、九州選手権陸上大会女子やり投げ３位當間汐織、県新人大会女子やり投げ優勝當間汐織、円盤投げ３位當間汐織、日本ユース選手権女子やり投げ７位當間汐織、全国障害者スポーツ大会800メートル・1500メートル競技参加久米島分教室牧志嵐

○平成25年

県総体女子やり投げ優勝當間汐織、男子円盤投げ６位平良主将、南九州高校体育大会女子やり投げ２位當間汐織、全国総体女子やり投げ８位

本校部活動の10年をふりかえる

具志川商業高等学校

本校は、第一次沖縄振興開発計画に連動して策定された学校編成整備計画に基づいて、みどり映える安慶名城（別名大川グスク）の畔、次代を担う逞しい職業人の育成を目指して、前原高校・石川高校・宜野座高校の３校にあった商業科を統合し、昭和51年10月15日に学校設置が決定されました。

この間、時代の変遷や社会のニーズ等により、２度にわたる学科改編が行われました。昭和63年に「情報事務科」、平成15年には、総ての学科をリニューアルし、「リゾート観光科」・「ビジネスマルチメディア科」・「オフィスビジネス科」・「情報システム科」の４学科５クラス編成になり、今日に至っています。学科改編に伴い、校舎や体育館の全面改築、テニスコートの整備や部室の新設、校内緑化等、施設面で充実が図られた。55,345㎡の学校敷地としては、希にみる広大なゆとりある校地では、野球やサッカー、ソフトボールが同時に活動しており、スポーツ活動をするには、恵まれた環境にあります。

開校当初は、女子バレーのベスト４や卓球、バドミントン等で優勝や準優勝に輝き、九州大会等へ派遣され、部活動は活発であった。また、商業教育の特徴として、県内で唯一の商業デパートを平成６年に開催し、今年は節目の第20回目の開催となる。生徒一人一人が株主となり、デパートを運営していく。まさに、商業の学びの集大成として先輩から後輩への良き伝統、良き行事としてしっかりと引き継がれ実践されている。

さて、新学科改編を契機に、商業系部活動や体育系部活動に参加する生徒が増えつつある現状から、学校が活性化していく息吹を感じている。情報系や旅行系の国家試験に合格する生徒や簿記の難関とされる日本商工会議所簿記１級に合格するなど、商業の検定試験に果敢に挑戦する生徒が増えてきた。

＜平成16年～平成25年までの体育系部活の実績＞

…ベスト４以上…

平成16年度

【女子バレーボール】

・第53回沖縄県高等学校体育大会秋季選手権大会　準優勝

・沖縄県高等学校新人体育大会　準優勝

平成17年度

【男子ソフトボール】

・第31回春季高等学校ソフトボール大会　準優勝

・全九州高校男子春季ソフトボール大会　３位

平成18年度

【男子ハンドボール】

・平成18年度県高等学校総合体育大会　３位

・県高体連中部支部ハンドボール大会　優勝

【女子ハンドボール】

・県高体連中部支部ハンドボール大会　準優勝

平成19年度

【男子ハンドボール】

・平成19年度県高校総合体育大会　準優勝

【男子ソフトボール】

・平成19年度県高校総合体育大会　準優勝

平成20年度

【女子バレーボール】

・県高等学校１年生バレーボール大会　３位

【男子ハンドボール】

・県高等学校ハンドボール選手権大会　準優勝

・県高等学校新人体育大会　準優勝

平成23年度

【男子ソフトボール】

・平成23年度県高校総合体育大会　３位

平成24年度

【男子ハンドボール】

・平成24年度県高校総合体育大会　３位

・平成24年度県高校新人体育大会　３位

【男子テニス】

・平成24年度県高校新人体育大会　Bブロック団体優勝

＊H25年度体育系クラブ活動

①女子バレー　②男女バスケット　③男子サッカ　④男子ソフトボール　⑤男女ハンドボール　⑥男女テニス　⑦ゴルフ　⑧ボーリング　⑨卓球

本気で夢に挑戦し、本気で文武両道を追求し、本気で人生を切り拓く

具志川高等学校

～学校概要～

具志川高校は、新しい時代に対応できる個性と創造性豊かな活力ある人材の育成を目指した特色ある高等学校として、昭和58年（1983年）開校しました。今年で31年目を迎え「G高」の愛称で親しまれています。喜屋武の高台の静かな環境と広い敷地に整備された校舎やグランドで、生徒達は生き生きと高校生活を送っています。各学年6学級の学校で、中部一円の中学校が校区になっています。現在、人間性豊かで、逞しい身体、優れた知性を備えた新しい時代に対応できる自主・自律の精神の育成を目指し、『地域に信頼される学校づくり』に取り組んでいます。

全日制課程　普通科、生徒数720人　クラス数12

～具志川高校の特徴～

文武両道

部活動に励みながら、希望進路実現のため、志高く勉学に取り組む生徒の育成

ノーチャイム

平成2年から始業のチャイムを廃止し、自主性・自律心を持った生徒を育成

弁当持参

創立当初から弁当持参を励行し、豊かな心とたくましい身体を育成

～部活動紹介～

文武両道の精神の下、勉強とともに部活動も大変盛んで、多くの生徒が部活動に励んでいます。

運動系・文化系ともに九州大会や全国大会に出場するなどの成果を上げています。

活動している部・同好会は以下のとおりです。

○バレーボール　○サッカー　○体操　○書道
○バスケットボール　○ラグビー　○吹奏楽
○文芸　○ハンドボール　○水泳　○合唱　○地学
○バドミントン　○陸上　○軽音楽　○ソフトボール
○卓球　○美術　○硬式テニス　○ダンス　○放送
○野球　○空手　○ボランティア

～本校の体育系部活動の足跡～

平成16年

第33回春季高等学校ソフトボール大会　優勝
水泳競技　男子200mバタフライ　1位　仲元清哉

平成17年

サッカー高校総体新人大会初優勝（九州大会出場）
硬式テニス夏季ジュニア大会　16歳以下女子シングルス　優勝　知念裕美

平成18年

沖縄県高等学校総合体育大会
水泳競技200M自由形　1位　山城　大将
沖縄県高等学校新人大会
水泳競技　100mバタフライ　1位　山城　大将
200mバタフライ　1位　山城　大将

平成19年

第33回春季高等学校ソフトボール大会　優勝
第69回全九州高等学校水泳選手権大会沖縄大会（末広杯）400mメドレーリレー1位　下地　健太
卓球女子個人戦　優勝　山根真理子
水泳競技　400m背泳ぎ、400mメドレー　優勝　下地　健太

平成20年

沖縄県高等学校総合体育大会
水泳競技男子　200M自由形、400M自由形、100M背泳ぎ1位　山城大将
沖縄高校等学校新人体育大会
水泳競技男子　100M背泳ぎ1位・200M背泳ぎ　1位　下地健太

平成21年

沖縄県高等学校総合体育大会
ソフトボール男子　　優勝
水泳競技男子 100M、200M背泳ぎ背泳ぎ 1位（大会新）下地健太（3年）
県高校新人大会ゴルフ競技　優勝　嘉陽与希子

平成22年

第36回春季高等学校ソフトボール大会ソフトボール男子優勝
県高校新人大会　　水泳競技男子　100M、200M平泳ぎ　1位　名護 朝哉（1年）

平成24年

男子ソフトボール　準優勝（九州大会出場ベスト8）
県高等学校新人体育大会　サッカー競技、準優勝

平成25年

高校総体結果は、サッカー準優勝
男子ソフトボール　ベスト4、ラクビー　ベスト4

創立50周年

興南高等学校

私立興南高等学校は、昭和37年（1962年）に「南を興す人材の育成」を掲げて創立され、文武両道における英才教育を実践してきました。さらに平成25年度は我が校創立50周年となる節目の年でもあります。特にスポーツ面においては県内外に輝かし実績を積み重ねており「興南」の名は全国津々浦々に知れ渡っています。昭和58年度（1983）の県高校総体から男女総合杯、男子総合杯、女子総合杯を学校対抗で争い合うようになり、本校は男子総合杯においては初回の昭和58年度（1983）から平成12年度（2000）に至るまで18年連続でこれを獲得（男子総合優勝）するという金字塔を打ち立てました。この間、男女総合杯においても４回獲得（優勝）し、その後も平成16年度から平成25年度までに、男子総合杯を平成17年度と平成19年度にも２度同杯獲得しています。

以下、平成16年度（2004）から平成25年度（2013）までの10年間本校のスポーツ面での実績を簡便にまとめました。

平成16年度（2004） 県総体優勝種目は、剣道男子団体、剣道個人女子、体操男子団体、体操個人男子女子、水泳男子個人、準優勝種目剣道女子団体、ハンドボール男子。

平成17年度（2005） 県総体男子総合優勝杯獲得、優勝種目は、ハンドボール男子、体操男子団体、ゴルフ女子個人、準優勝種目は、剣道男女団体、水泳男子個人、柔道女子個人、３位種目バスケットボール男子、水泳男子個人、相撲個人。

平成18年度（2006） 県総体優勝種目は、剣道男子団体、体操男子団体、体操男子個人、バスケットボール男子、ハンドボール男子、ゴルフ男子団体、ゴルフ男子個人、準優勝種目は、体操男子個人、水泳女子個人、柔道女子個人、剣道女子団体、剣道女子個人、３位種目弓道男子団体、柔道女子団体、相撲個人。

平成19年度（2007） 県総体男子総合優勝杯獲得、優勝種目は、剣道男子個人、体操男子団体、体操男子個人、バスケットボール男子、ハンドボール男子、ゴルフ男子団体、剣道男子個人、準優勝種目は、剣道男女団体、柔道女子個人。

平成20年度（2008） 県総体優勝種目は、陸上男子個人、空手男子個人、剣道男子団体、剣道男子個人、体操男子団体、体操男子個人、柔道女子個人、ハンドボール男子、ゴルフ男子団体、準優勝種目は、剣道女子団体。

平成21年度（2009） 県総体優勝種目は、弓道男子団体、弓道男子個人、空手個人、剣道個人、体操男子団体、ハンドボール男子、準優勝種目は、バスケットボール男子、剣道男女団体、剣道女子個人。

平成22年度（2010） 県総体優勝種目弓道男子団体、弓道男子個人、空手男子個人、剣道男女団体、体操男子団体、ハンドボール男子。

平成23年度（2011） 県総体優勝種目は、剣道男女団体、剣道男子個人、体操男子団体、バスケットボール男子、ハンドボール男子、準優勝種目ゴルフ男子団体。

平成24年度（2012） 県総体優勝種目は、剣道男女団体、ハンドボール男子、準優勝種目は、バスケットボール男子、弓道女子団体、弓道女子個人、３位種目空手団体。

平成25年度（2013） 県総体種目は、ハンドボール男子、バスケットボール男子、剣道女子団体。

以上は県高校総体に限っての上位成績のまとめですが、県新人大会や各種目における県大会においても好成績をおさめています。また、県大会を突破し九州大会、さらに全国大会での上位成績を残した種目、その中でもハンドボール男子は、平成17年度第28回全国高等学校ハンドボール選抜大会で優勝し、同大会で計４回の全国優勝を成し遂げました。

さらに、同年に行われた全国高校総合体育大会でも優勝し、計２回の全国優勝、ハンドボール協会の歴史に残る平成17年度岡山国体で少年男子ハンドボール競技では、監督黒島宣昭、興南高校ハンドボール部単独チームとして出場しみごと優勝、平成17年度においては、全国選抜大会、全国総体、国体の三冠を達成する偉業を成し遂げました。その快挙は協会のみならず、県高体連、関係各団体から「県民に勇気と感動を与えた」として、那覇市から那覇市青少年特別賞、沖縄県から沖縄県児童生徒等知事特別表彰を受賞しました。平成25年度全国総合体育大会おいても優勝しこれまでに計５回の全国制覇、全国高等学校ハンドボール選抜大会では計４回の全国制覇、岡山国体での全国優勝を合わせると合計10回の日本一に輝きました。監督として指揮を執った黒島宣昭先生は、平成25年度琉球新報活動賞を受賞し、本校の掲げる文武両道の精神を実証し、我が校創立50周年史に残る節目の年となりました。

又、今後更なる学校と沖縄の飛躍発展に向け、創立の精神に基づくスポーツ指導と教育に邁進して参ります。

創立20周年を迎えて

向陽高等学校

本校は、太平洋を望む風光明媚な港川の地に島尻地区における普通高校の適性配置と「特色ある学校を」という地域の熱い思いに応え、普通科、理数科、国際文科を設置する全県下の中学校から入学できる高校として、平成６年に開校し今年創立20周年を迎えています。

本校には「国際化、高度情報化した社会で生きていく豊かな教養と正しい判断力を身に付け、世界の人々から信頼され、尊敬される人材の育成を目指す」という教育理念があります。そしてその理念の下、生徒が世界へ羽ばたき、大きな事業を成し遂げることを願い制定された校訓「図南雄飛」があります。本校の校章は３学科を意味する３つの円で構成され、それぞれの学科の生徒が切磋琢磨を重ね、響き合い、一人ひとりが大きく成長していく姿を表しています。

本校の生徒は先輩が築いた良き校風や素晴らしい伝統をしっかりと引き継いでいます。早朝講座から始まり、６コマの60分授業終了後に生徒は部活動に汗を流します。本校ではおよそ85％の生徒が部活動に加入し、学習に部活動そして学校行事等にも全力で取り組み、充実した高校生活を送っています。部活生の中には、部活動終了後に自主学習に励む生徒も多く見られます。行事としては、毎年開催される向陽際、シンガポール･マレーシアを訪れる海外研修、また、ユニークな行事として校内武道大会が創立以来、毎年開催されています。進学については、国公立大学に現役で毎年100名前後の合格者を出すなど、本県を代表する進学校として本校は着実に20年の歩みを重ねています。

日頃の部活動時間は短いのですが、これまでに県大会で優勝や準優勝などの素晴らしい成績を残している部活動等もあります。ここでは平成16年度以降の体育系部活動を紹介します。特にソフトテニス、ウエイトリフティング、水泳競技等に顕著な実績があります。平成16年度では、県高校新人体育大会においてソフトテニス男子が団体優勝、個人で準優勝を果たしています。また、平成17年度では県高校総体でソフトテニス男子が団体優勝、ウエイトリフティングで個人２位、同じく水泳で個人３位の成績を収め、男女総合で25位となっています。平成18年度では、県高校総体においてソフトテニス男子が個人準優勝、水泳女子400m自由形1位、800m自由形３位、ウエイトリフティング85kg２位、県高校新人体育大会において、94kg級優勝、ソフトテニス男子個人３位の成績を上げています。平成19年度では、県高校総体でソフトテニス男子団体戦準優勝、男子個人準優勝、ウエイトリフティングで個人優勝、同年の県高校新人体育大会において、ソフトテニス男子団体優勝、個人においても１位と３位を獲得しています。平成20年度では県高校総体でソフトテニス男子団体優勝、個人優勝、準優勝という輝かしい成績を収めています。

今年度、平成25年度の県高校総体には男女合計で22競技に231名が参加し、成績は以下の通りです。伝統のソフトテニスにおいては女子が活躍しました。女子個人で5位に入賞し、九州及び全国高校総体、国体九州ブロックへ県代表として派遣されました。また、水泳女子において100mバタフライ決勝4位、50m自由形決勝４位、団体で８位に入賞し、九州大会へ１名が出場しています。水泳では男子100mバタフライ決勝で６位に入賞しています。その他の競技では、女子ソフトボール部がベスト８、男女バスケットボール部がベスト16入りし、団体競技も健闘しています。陸上競技では、沖縄陸上競技選手権大会少年Ｂ走り幅跳びで４位入賞を果たしています。県高校総体男女総合では39位の成績を収めました。

高校野球では、夏の甲子園沖縄県予選大会において本校野球部は１回戦を快勝し２回戦に進出しました。惜しくもベスト16入りは逃しましたが、１、２回戦共に多くの学友が球場に駆け付け、大声援が球場に響き渡りました。また、選手の最後まであきらめない一生懸命なプレーは応援団に大きな感動を与え、選手と応援団が一体となったことを強く感じさせた大会でした。

向陽高校は今年20歳を迎え、気持ちを新たにし、本校教育理念の具現化を図るため、知・徳・体の調和の取れた教育を推進していきます。

本校体育系部活動の足跡

ペ　ン・・・・学問　　月桂樹・・・・勝利

コザ高等学校

本校は中城湾に面した沖縄本島中部の東側丘陵地に位置し、眼下に与勝半島、知念半島などが見渡せる景勝の地にある。校庭では現在でも校歌にある山桃の木が枝もたわわに実をつける。全日制普通科30学級、定時制商業科４学級の学校です。戦後の沖縄復興の中で、教員養成所後にいち早く、教育界の先陣を切って、校訓「自由・平和・叡智」をモットーに真の文武両道を目指す新制高等学校として設立されました。スポーツ・文化活動・大学進学等に実績のある沖縄本島中部の中核校としての伝統校であります。創立以来の卒業生は、２万８千余人、多くの方々が県内外で活躍中です。平成25年度は創立68年目を迎えました。又、本校は入学式、卒業式等への生徒会の自主企画、生徒の積極的な参加が見られます。校庭には四季の草花が咲き誇り、さわやかな挨拶と笑顔の行き交う学園、自由と責任のもと自主自立に向けた精神をコザ高校は創造させます。

平成15年度　**県高校総合体育大会　男女総合 3位（男子７位・女子5位）**県高等学校新人体育大会　優勝等多数（空手道）全九州高等学校空手道新人大会 優勝 男子団体形　男子個人形

平成16年度　**県高校総合体育大会　男女総合 2位（男子2位・女子4位）**九州高等学校空手道新人大会　男子団体形　優勝　個人形 優勝　全国空手道選抜大会（九州代表）団体形 ３位

平成17年度　**県高校総合体育大会　男女総合 2位（男子3位・女子2位）**全九州高等学校空手道競技大会　男子個人形 優勝　全九州高等学校体育大会 空手道 個人形 優勝 優秀選手賞　県高等学校総合新人体育大会 優勝多数（弓道・新体操・体操・卓球・駅伝）

平成18年度　**県高校総合体育大会 男女総合 優勝（男子1位・女子2位）13年ぶり4度目** 県高校新人体育大会　優勝等多数（ボート・新体操・体操・卓球・バドミントン）全九州高等学校空手道新人大会 南ブロック男子個人形優勝　第26回全国高等学校空手道選抜大会（和歌山県）個人形準優勝

平成19年度　**県高校総合体育大会　男女総合 優勝（男子1位・女子2位）2年連続5度目** 県高校新人大会 優勝等多数（ボート・駅伝・新体操・水泳・卓球・駅伝）第58回全国高校駅伝競走大会（京都都大路）出場

平成20年度　**県高校総合体育大会　男女総合 2位（男子2位・女子2位）**県高校新人　優勝多数（テニス・空手・駅伝）

平成21年度　**県高校総合体育大会　男女総合 優勝（男子2位・女子1位）** 2年ぶり6度目　県高校新人　優勝等多数（水泳・テニス・陸上・空手道・ボート・バドミントン・体操）県高等学校総合体育大会　駅伝大会　男子優勝　第29回 全九州高等学校空手道新人大会 南ブロック大会 男子団体形１位 男子個人形１位 第60回 全国高校駅伝大会（京都都大路）　男子駅伝部出場　高校新人駅伝大会　男子・女子優勝

平成22年度　**県総合体育大会　男女総合2位（男子3位・女子1位）美ら島全国高校総体2010開催　出場　ボート男女・水泳男子・バレー女子・卓球女子・空手男女・バドミントン女子・硬式テニス・体操・新体操**　県高校新人大会 優勝等多数（卓球・新体操・体操）県高校駅伝大会　男女優勝　第22回全国高校選抜競漕大会九州地区　予選　女子ダブルスカル準優勝　第30回全九州高等学校空手道新人大会　男子・女子団体形準優勝 高校新人駅伝大会　男子・女子優勝

平成23年度　**県高等学校総合体育大会　男女総合優勝　男子・女子総合優勝　2年ぶり7度目**
全九州高等学校総合体育大会空手道競技　女子個人形優勝　県高等学校新人体育大会　優勝等多数　（バドミントン）県高等学校総合体育大会　秋季ラグビーフットボール大会 優勝　県高等学校総合体育大会駅伝競争大会 男子・女子総合１位　第31回全九州高等学校空手道新人大会　男子団体形１位　沖縄県高等学校新人体育大会 第29回県高等学校新人ラグビーフットボール大会 優勝　県高等学校新人駅伝競争大会　男子優勝

平成24年度　**県高等学校総合体育大会　男女総合優勝（男子2位・女子2位）　2年連続8度目**　県高等学校新人体育大会陸上競技　優勝等多数（陸上・空手道・バドミントン）第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会沖縄県予選　優勝県高等学校新人駅伝競走大会　男子優勝　平成25年度　**県高校総合体育大会　男女総合優勝（男子2位・女子1位）3年連続9度目**